

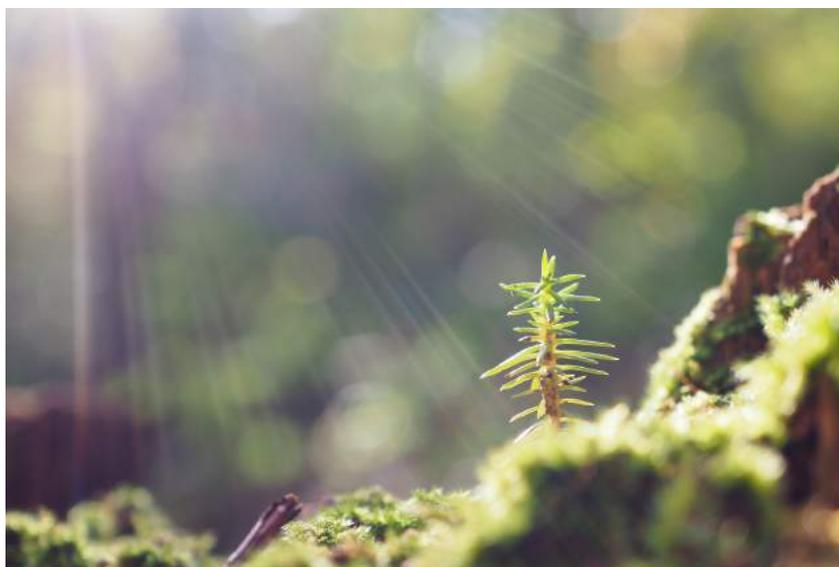
森と人が

生かしあうために、

森づくり活動を通じて

私たちができること

どうする？どうなる？ これからの森づくり 2019



2019.2.2 [土] **13:30～16:30**

文京シビックセンター 26F スカイホール

■参加費無料 ■定員：90名

森林社会学研究会 連続講座「森から人へ 人から森へ」第13回

主催：NPO 法人森づくりフォーラム／森林社会学研究会
平成30年度 林野庁補助事業

<http://www.moridukuri.jp>



どうする？どうなる？これからの森づくり2019

～森と人が生かすために、森づくり活動を通じてできること～

持続可能な社会を形づくっていく上で欠かすことができない役割を担う「森林」は、人間だけでなくあらゆる生態系の基盤でもある生物多様性の宝庫です。その森林に直接赴き、手入れや資源の活用といったアクションへ積極的に関わることを通じて、人々の暮らしと森とを結び、一つの大きな架け橋となっているのが「森づくり活動」です。

NPO 法人森づくりフォーラムは、林野庁補助事業として2018年に「H30年森林づくり活動の実態調査」を実施しました。

調査対象団体数は約4,000団体近くある中、森づくり団体の多くが参加者集めの困難さ等を理由に、自身の活動持続性について課題を感じていることも本調査回答で見受けられています。

本シンポジウムでは調査結果の共有と、これからのモデルとなるような森づくり団体からの発表を通じて、市民・地域住民が主体となる森づくり活動のこれからの展開を議論します。そして森と人が生かすために、森づくり活動を通じてできることを考え、ともに歩を進めましょう。

【登壇する森づくり団体とコーディネーター紹介】

青木 亮輔 さん (株式会社 東京チェンソーズ 代表取締役)

東京農業大学林学科卒。1年間の会社勤めの後、「地下足袋を履いた仕事がしたい」「後継者不足の林業なら自分にも活躍の場があるのでは」と、東京チェンソーズを起業。「美しい森を育み、活かし、届ける」を企業理念とし、東京都の多摩地域で林業を行いながら、東京の木を使った家づくりを推進する「TOKYO WOOD」への参加、「東京美林倶楽部」「森デリバリー」など、市民に開かれたユニークな事業展開をしている。個人としては内閣府規制改革推進会議農林WG 専門委員等も務める。

山本 由加 さん

(認定 NPO 法人しずおか環境教育研究会【エコエデュ】
副理事長・事務局長)

通称エコエデュ。1989年前身団体設立、2000年にNPO法人格取得。静岡市内の都市近郊里山林にて主に0～12歳を対象とした環境教育を年間26事業実施、年間活動日数399日・年間のべ参加者数8,154名を創出する。森林経営学専攻時代から森林環境系市民活動に関わり、公務員等を経て2007年からエコエデュ勤務。指定管理等安定した財政基盤を持たない中、草の根の活動性を保持しつつ次世代の有給職員を育成できるNPO経営力の獲得を目指している。

黒川 優樹 さん (西多摩マウンテンバイク友の会 副会長)

西多摩マウンテンバイク友の会は、西多摩地域周辺のマウンテンバイク愛好家によって2009年に設立され、以降、地域住民や行政、関係団体等と連携をして里地里山の整備活動や地域行事等への参加等を通じて地域づくりを行っている。フィールドでは自然環境や他の利用者に配慮し、様々なものと繋がることで楽しめるマウンテンバイクの走り方を提唱し、持続可能なシーンづくりを目指している。

鹿住 貴之 さん

(認定 NPO 法人 JUON (樹恩) NETWORK 事務局長)

1998年大学生協の呼びかけで設立された都市と農山漁村を結ぶJUON NETWORK (樹恩ネットワーク) に事務局スタッフとして参画。99年3月より事務局長。その他、NPO 法人森づくりフォーラム常務理事、認定NPO 法人エンパワメントかながわ理事、認定NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会運営委員長、東京ボランティア・市民活動センター運営委員、杉並ボランティアセンター運営委員等様々な市民活動に携わっている。著書に『割り箸が地域と地球を救う』(創森社・共著)等。

【会場 (MAP 右図)】

文京シビックセンター 26F スカイホール

東京都文京区春日 1丁目 16-21 TEL: 03-3812-7111

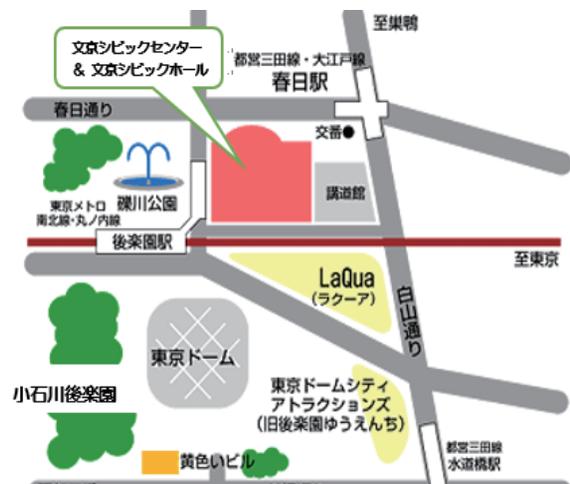
○ 東京メトロ

後楽園駅・丸ノ内線 (4a・5番出口)、南北線 (5番出口) 徒歩1分

○ 都営地下鉄

春日駅三田線・大江戸線 (文京シビックセンター連絡口) 徒歩1分

○ JR 総武線 水道橋駅 (東口) 徒歩9分



(FAX: 03-3868-9536 森づくりフォーラム宛)

<参加申し込み用紙>【2/2(土)13:30～16:30】 どうする？どうなる？これからの森づくり2019

氏名:

Eメール:

所属:

電話番号:

懇親会

参加

不参加

種別: (該当するものに○)

個人会員

団体会員

一般

学生

※上記のことが記されていれば、Eメール (office@moridukuri.jp 宛) でも参加申し込みできます。